

知りたいこと

望むこと

5人の議員が一般質問

大谷自然公園の現況は

建設課長―平成17年度末の完成を目指して

毛利 喬 議員



17年度末までにはすべてが完成する予定です。

また、使用目的については、青少年健全育成、生涯学習、地区公園として位置づけ、子どもからお年寄りまで幅広い学習、憩いの場となれればと考えています。

使用規則、所管課は平成18年3月末までに都市公園条例の制定と合わせて整備します。

質問 工事は進んでいますが、公園の完成時期と使用目的を聞きたい。また、使用規則、所管課はどうなるのか。

建設課長 公園は、平成15年から3カ年計画で建設しています。

主な設備としては、現在までに給水設備、管理棟、バンガロー（8棟）浄化槽、防火水槽ができておあり、平成17年度に研修棟、炊事場、遊具、葉草園等が建設され、



完成した管理棟

鞍手分校を県に移管できないか

質問 鞍手分校設立の経過とその目的は。

また、福岡県立鞍手高等学校鞍手町立鞍手分校となっているので、当然県立校と同じように諸経費を保障すべきと考えられるが。

教育長 鞍手分校設立の目的は、向学心のある勤労学徒に学ぶ機会を与えようとするためだと思えます。

私は、県移管のことでこれまで2回県教育委員会に現状を説明し、協議をしましたが、その都度、県は少子化による高校再編を実施する中、県に移管することはできないと言っています。

今後も町教育委員会、鞍手高等学校、県教育委員会と相談しながら、町の負担が減少する方向で進めていきたいと思えます。

一部事務組合の取り扱いは どうなる

町長―現在協議中です

仲野 守 議員



質問 宮若市が平成18年2月に誕生する関係上、直方鞍手広域市町村圏事務組合は、一度解散する必要があると思うが、新たな枠組みで再編を行うのか、どこを再編するのかお尋ねします。

特に、消防業務については現状の広域圏で行うのか、宮若市外2町で行うのか。

宮田町外3町で運営のじん芥処理組合は、4町で管理費負担金を均等割30%、投入量50%、人口

割20%を負担しているが、新市の誕生で負担金割合の変化が生じます。旧施設の解体工事を含む、各負担金割合の展望を聞きたい。

町長 直方鞍手広域市町村圏事務組合は、負担金割合や財産処分など、どうするのがよいか、手



旧、じん芥処理施設

続きのなものも含めて県の指導を受けながら、これから協議を進めます。

消防業務は、鞍手郡4町と直方市の間で消防施設や人件費について格差があるので、今すぐ直方市との合併は困難です。郡町長会では従来どおりでいこうとの基本的な話はしています。

じん芥処理組合の管理費負担金は4町から1市2町に変わること、均等割に変更が出てきます。従来からの取り組みを基本にすれば、1市2町が均等割でいいことにはならないので、現在担当課で協議をしています。

30人以下学級の導入は

教育長―今後もしっかり要望していきます

宇田川 亮 議員



質問 30人以下学級の導入は、児童、保護者、先生方からも強い要望があります。以前、教育長は25人ぐらいが適正と考え、教育長会議にも取り上げ要望すると言っていたが、経過は。

町内の小中学校8校を見て6〜7人の教師が増えるだけだと思いますが、町への影響以上にメリットを考えると少人数学級の導入は急ぐべきであり、不可欠です。教育長が考えるメリットは。

教育長 本年1月20日、校長会会長の剣北小学校と県教委の関係職員に会って現状を説明し、30人学級はもとより、更に定数の加配を要求しました。しかし蓋を開けてみれば従前どおり1人の加配だけでした。中教審の会長も30人学級を審議

に諮っていくとのことですので、今後色々な場面で話をしたいと思っています。

メリットとしては、少人数であれば、教科の指導や生活指導について教師の目が十分行き届くことです。

町の影響は、30人学級のため

には、6人の常勤講師を雇用しなければなりません。1人300万円円で1800万円が必要ですよ。

質問 40人の生徒がいたら目配りも、行き届いた教育もできず、先生方は今大変な状況です。現状を今後も強く訴えて頂きたい。やるといふ決意を教育長から聞きたい。

教育長 30人学級を是が非でも、今後あらゆる機会を通して行政側、教育事務所、県教委に申し入れ、しっかりと要望していきます。



剣北小5年生(40人の学級)

禁煙運動の実施を

町長―町が一方的に旗はふれない

香原 暹 議員



の公共施設では伏流煙の防止に取り組んでいます。完全禁煙については、愛煙家の方もおられますので、今の段階で判断は難しい状況です。

質問 町内の民間施設に対して禁煙の要請をする考えは。また、禁煙健康都市宣言を発表し、禁煙運動に積極的に取り組む姿勢を示してほしいが。

質問 喫煙による健康被害はガンだけでなく、脳血管障害、心疾患にも関係していると報告されています。また、喫煙者本人だけでなく、伏流煙を吸われる周囲の人にも多大な不快感と健康被害をもたらします。町の施設内での禁煙に対する施策はどれくらい進んでいるのか。また、完全禁煙を実施する考えはないか。

町長 町立病院は禁煙としていますが、本庁舎等



町立病院は全館禁煙(玄関横の喫煙所)

町長 民間の施設には施設管理者がおられるので、管理者の自主的判断をお願いしたいと思っています。

禁煙健康都市宣言については、愛煙家の方もおられますし、たばこ組合もありますので、町が一方的に旗を振ることはできないと思います。

「1%支援制度」の実施を

質問 この制度を実施することによって、町民の町制に対する関心を高め、町民税の徴収率アップにもつながると思うが。また、その1%を住民団体に補助金として支出すれば、団体の活動が活性化すると思うがいかがか。

町長 千葉県市川市が17年度から取り組んでいますので、どのような結果が出るかみてみたいと思います。

今、鞍手町は元気がない。次の出馬の意思は

町長―今後については少し時間をいただきたい

福本 博文 議員



家屋のほか山田川の第3分水、本月の水路改修、境川の復旧に取り組みました。かんがい排水ポンプ施設と谷山池パイプラインは基金の設定ができました。

質問 町長の3期11年の成果は。

町長 就任した当時町政は混乱していました。先ずやったのは、政治倫理条例と情報化制度です。次に財政再建問題、中山本村工業団地を処分し、借金を減らしました。

また、保健、福祉では、総合福祉センターの建設や町立病院に長期介護施設を併設しました。鉱害復旧では、農地、

質問 1・2期目は町長もよくやったと思います。3期目で、行政改革大綱という立派な指針があつたにもかかわらず、合併に走りすぎたのではないか。結果として実現しなかった。今、鞍手町は元気がない町になっている。そんななかで来年の町長選挙に出る意思がありますか。

町長 結論を出すにはあと少し、時間いただきたい。いずれ意思を明確にしたいと思います。



総合福祉センター